

一般質問

吉田ゆみこ 議員 (ネット)



多様な性のあり方への理解促進と支援策について

品川区は国民健康保険証の性別表示を、申し出があれば裏面にすることを認めている。ホームページ上の告知について見解は？

飯沼 雅子 議員 (共産)



「認可保育園に預け安心して子育ても仕事もしたい」は当たり前で、願った質・量ともに責任を持つ保育を

区は待機児を19人と発表しているが、不承諾通知を発送した78人のうち認可外保育所入所者等859人を除き少なくとも見せている。希望して入れない不承諾数は全て待機児とカウントし、入園できれば働きたい潜在的保育需要も加味し計画を立て、必要数認可保育園の増設を。待機児のカウントは国の定義に基づき行っている。増設については、ニーズ調査をもとに新たな計画を策定し、その実現に努めていく。

一般質問

横山由香理 議員 (自・未)



児童虐待防止対策と児童相談所移管について

品川区は、速やかに全国の児童相談所や子供家庭支援センターなどに共有を。移管する児童相談所には品川区の特色を出す。いかがが。品川区子ども・子育て支援事業計画に基づく各種事業、支援事業を実施してきた。今後も、妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を推進し、児童虐待の発生予防に全力で取り組んでいく。移管する児童相談所については、必要も踏まえ、検討していく。

おり、園児数の見直しは待機児童数の推移等を見きわめ検討する。庶民のまち武蔵小山を愛する住民。商店を追い出さないで、駅前の高層再開発、放射2号線道路は中止を

区は、武蔵小山を超高層ビルの林立するまちに変えようとしているが、多くの住民は庶民的なまちを愛し、超高層ビルは希望していない。これ以上、住民を追い出す再開発はやめるべきでは。現在事業を行っている地区は品川区まちづくりマスタープランを踏まえよりよい市街地の形成を実現するもので、区として引き続き当該地区のまちづくりを支援していく。

一般質問

塚本よしひろ 議員 (公明)



空き家と看板等の安全性について

子どももの性被害の防止、予期せぬ妊娠などへの性教育のあり方、性感染症の予防に関する啓発、虐待しない子育てを学ぶ機会の創出など、青少年健全育成と性感染症対策については、いかがが。携帯電話「しながわアクション」を作成し、家庭・学校・地域等での子どもの見守りを推進している。性教育については、保護者の理解を得て計画的に指導している。性感染症予防について、2つの保健センターでHIV抗体検査および梅毒検査を実施している。

一般質問

行政のICT化について

小学生のランドセルやカバンが重く、児童・生徒の身体や学校生活に悪影響が無いか実態を把握し、教育委員会として「置き勉」などに対する柔軟な対応を求める。教育委員会としても児童・生徒に過度な負担となる重たいカバンは課題と認識している。学校や学年内での共通したルール作りについて、各校が柔軟に対応できるように支援していく。児童・生徒をSNS犯罪から守るため、情報モラル教育の強化と保護者への啓発・情報共有の推進を。児童・生徒が主体的に課題解決に取り組み機会を重視し、保護者への情報共有も図る。安心・安全な情報社会の実現に向け、学校・保護者・地域の連携を深めていく。

一般質問

働き方改革について

働き方改革については、男性へのサポートも大切だ。品川区のダイバーシティの研修開催と評価制度の見直しを。また、成果が出るオフィスづくりへの支援としてワーキングホリデーの開催を提案する。子育てや介護に当たっている職員の仕事や職場環境づくりに取り組んでいる。ダイバーシティを醸成する制度の周知や職場研修など工夫していく。ワーキングホリデーについては、コンサルティング経費助成の活用も可能である。

一般質問

学校教育について

多様な児童・生徒を教育するため教職員の体制強化と地域の力との連携について区の見解を聞く。研修を通じて教職員の質的向上を図り、区独自の巡回相談員や専門家の訪問相談で体制を充実する。地域との連携については、品川区コミュニティ・スクールとして可能な支援内容を研究する。

青少年健全育成と性感染症対策について

